

授業開講年度	2026	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	春学期	開講曜日・時限	水曜2限
科目コード	Z10233	授業コード	40561
レベルナンバー	200	配当年次	1
授業科目名	キャリア形成と社会		
担当教員名【代表】	三宅 麻未		
担当教員名			
授業形態	講義		
授業方法	対面授業		
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点(※本科目がどの項目に該当しているかを示す)			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】	○	知識・情報を活用する力【DP2】
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】		対人基礎力【DP4】
	対自己基礎力【DP5】	○	対課題基礎力【DP6】
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】		社会的責任【DP8】
授業の目的	キャリア開発に重要とされる3要素、「自己理解」「仕事理解」「社会理解」のうち、とくに「社会理解」と「自己理解」に焦点をあて、現代的な諸問題や社会の変容について理解する中で、自分の立ち位置や希望する生き方についてインスピレーションを膨らませます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢やキャリア形成の現状を知り、社会人として必要とされるスキル（技術や能力）を理解すること。</li> <li>・過去を振り返りながら自分を知り、得意なことやこれからやってみたいことを認識しこれからのキャリアプランの基盤とすること。</li> <li>・やってみたいことを実現するため、これからのキャリアについて自分なりの目標を立て具体的なプランを形成し、それを人に伝える手段を身につけること。</li> </ul>		
授業概要	毎回の授業では、社会問題に関する自分なりの考えをまとめたり、将来のキャリアプランについて内省したり、またディスカッション機能を活用して他のメンバーと意見を交換したりする機会があります。授業によっては、事前課題として自分の過去の経験や考え方をあらかじめ書き出しておくことや、近年のトレンドについて事前調査を求めています。自分なりの意見が言えるよう、積極的な情報収集と授業参加を期待しています。		
課題レポート等	授業でのワークをスムーズに進めるため事前課題（メモやレポート作成）があります。また、成績評価として授業で扱うテーマをまとめた中間レポートと最終レポートの作成を求めます。		
フィードバックの方法について	授業時間内の演習は、ラーニングポイントを解説するとともに、オンラインアプリを活用した質疑の時間を設けるため、その中でフィードバックを行う。その他の中間レポートや最終レポートに関するフィードバックを希望する場合は別途面談を設定することができる。希望者は事前にメールにて担当教員まで連絡すること。		
授業時間外学習	次の授業をスムーズに進めるため、毎回の授業後に、60分程度の作成時間を要する事前課題（レポートやメモの作成）が求められます。		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	イントロダクション：キャリアとは何か	この授業で扱う「キャリア」や「キャリアデザイン」について基本的な考え方やコース全体の流れを理解する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
02	労働市場の理解：就活で自分を売るとは	働き方が多様になる中でも変わらない、「就活」あるいは「新卒採用」を理解し、企業組織のルールに関して解説する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指

			定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
03	職業世界の理解： 初期キャリア形成とは	就職の重要となる 職業的自己概念（キャリアアイデンティティ）の形成と、キャリアの入り口における悩みについて理解する	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
04	職業世界の理解： 現場を支える人々	メンバーシップを重要視する日本企業において、現場スタッフがよに企業組織を支え、社会を支えているのか、またキャリア形成とは実際にはどのように進んでいくものなのか理解する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
05	多様・流動化する社会の理解： 自己投資と転職 【ゲストレクチャー】	多様化する社会では自らキャリアをデザインすることが求められる。仕事と職業アイデンティティについて考える。	【中間レポート告知】 事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
06	雇用システムの理解： 昇進とAI化をめぐる悩み	働く人の多くが抱える人間関係の問題について国際的な比較をしながら考えると共に、AIによって変わる働き方について検討する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
07	起業の理解： 小規模企業の世界	働くことを考える時には、起業という選択肢もその一つである。起業とは何か、そのトレンドの変化について見る。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
08	高齢者雇用の理解： 人生100年時代の働き方	超高齢社会を迎える日本における社会構造を理解すると共に、高齢者を含めた働き方について模索する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
09	企業主体の理解： 企業は誰のものなのか	会社は株主のものか、従業員を含めた利害関係者（ステークホルダー）のものか、あるいは社会のものかという視点について理解する。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
10	社会責任の理解： 企業活動と環境問題	企業活動には環境負荷をはじめとする様々な課題が生じる。起業が社会に果たすべき責任や社員への福利厚生について考える。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
11	格差の理解： 能力と不平等	起業活動には環境負荷をはじめとする様々な課題が生じる。起業が社会に果たすべき責任や社員への福利厚生について考える。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
12	ワークライフバランスの理解： 人生の節目をめぐる悩み 【ゲストレクチャー】	いまだ溝が埋まらないジェンダーギャップ指数の中で必要な考え方や、男性にも女性にも働きやすい社会づくりを目指す取り組みについて事例を通じて考える。	【最終レポート課題告知】 事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる）

			事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
13	地域活性化の理解： 移住と新しい雇用創出という問題	産業構造の変化により、街の荒廃が進んでいる。地域の再生に不可欠な人の流れと雇用の関係を見る。	事後課題：リフレクションシートの作成（授業の中で気になったこと、学んだことをまとめる） 事前課題：次週に取り扱う分野について指定のワークシートを作成したり、事前調査を行う
14	労働移動の理解： 国境を越えた労働者や移民	生産年齢人口が減少する日本において活躍する移民労働者の現状と課題を理解する。	事後課題：ここまでの授業全体を振り返ってのリフレクションシートの作成および最終レポートの作成
15	メンタルヘルスの問題&総論 とリフレクション	近年増加するメンタルヘルスの問題を扱った後、全体のまとめとリフレクションを行う	最終レポートの作成と提出
成績評価の基準と方法		リフレクションシート（20%）、起業への成果報告（50%）、最終レポート（30%）毎回の授業後にリフレクションシートを提出してください。	
教科書		なし（各授業で使用する内容についてはPDF資料で配布します）	
参考図書		村山昇（2018）『働き方の哲学』ディスカバー・トゥエンティワン 安達智子、下村英雄（2013）『キャリア・コンストラクションワークブック 不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』金子書房 梅崎修、松繁寿和、脇坂明（2020）『仕事映画に学ぶキャリアデザイン』有斐閣	
授業に関する質問等の方法		初回授業で担当教員に確認してください。	
備考		本授業は「WDBホールディングス」の協力のもと実施する産学連携PBLである。企業から提示される課題について、積極的に取り組む姿勢が求められる。 授業計画は変更になることがある。変更が生じた際には、第一回授業および各授業回にて案内する。 【本授業は、実務経験を有する教員が担当し、当該の経験を活かした内容を教授する】	
短大同時開講使用欄			